

災害とこころのケア

～人生の主導権を取り戻すために～

● 講師 ^{いけの さとし} 池埜 聡 先生

関西学院大学人間福祉学部 教授
災害復興制度研究所研究員

私たちは日々何らかのストレスと付き合いながら生活しています。地震や台風など思いがけない災害にあうと、抱えきれないほどの大きなストレスがかかり、様々なこころの変化が生じることもあります。それは、その後の人生に大きな影響を与えてしまうかもしれません。

今回災害支援やトラウマ研究の専門家であり、『届かぬ支援 震災負傷者4万人』をテーマとしたクローズアップ現代にも出演された池埜聡先生をお招きし、災害時に起こりうる“こころの変化”について一緒に学びたいと思います。

自分の心のストレスをうまく整理していくヒントになれば！ 是非ご参加ください。

● 日時

平成24年2月18日(土)

14:00～16:00(13:30開場)

● 会場

中央コミュニティーセンター 3F

多目的ホール(大)

参加費
無料

● 申込必要 (電話もしくは裏面申込欄にご記入の上FAXにてお申込み下さい)

● 定員 100名(当日参加もできますが先着順とさせていただきます)

■ お問い合わせ先

和歌山県精神医学ソーシャルワーカー協会 事務局

〒641-0054 和歌山市塩屋3-6-2

医療法人宮本病院 地域活動支援センター櫻 (担当: 中野)

電話: 073-444-2468 FAX: 073-446-6607



後援

講師 プロフィール

池 埜 聡 先生

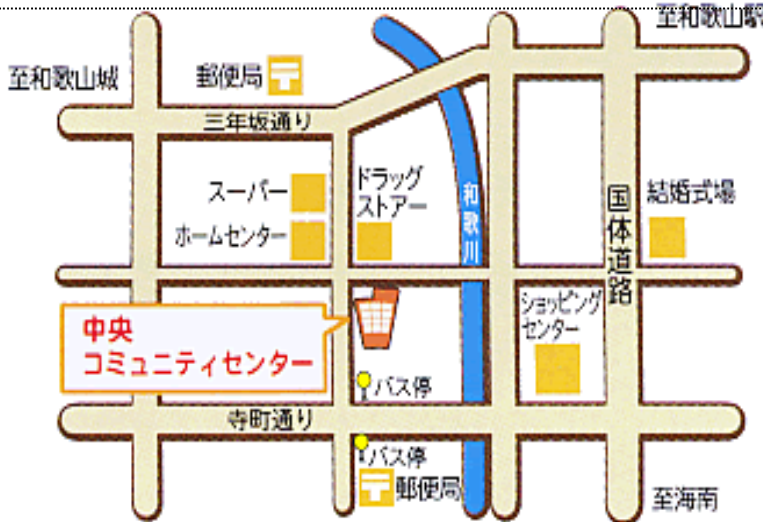
関西学院大学人間福祉学部 教授



—略歴—

神戸生まれ、カリフォルニア大学ロスアンゼルス校（UCLA）社会福祉学科博士課程修了（Ph.D.）。淀屋橋心理療法センターの心理カウンセラー、コロラド州デンバーのAsian Pacific Development Center臨床ソーシャルワーカーとして東南アジア難民支援に従事。現在、関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科教授。専門は臨床福祉学、心的外傷学（traumatology）、主著に『犯罪被害者支援とは何か：附属池田小事件の遺族と支援者による共同発信』2004年（共著）ミネルヴァ書房、『災害復興』関西学院大学出版会（共著）、「生存者罪悪感（survivor guilt）の概念的枠組みとソーシャルワーク実践の課題」『社会福祉学』2001年（単著）など。

会場 中央コミュニティーセンター
〒 640-8123 和歌山市三沢町1丁目2番地
TEL: 073-402-2678



バスでお越しの方



和歌山バス

塩屋経由・医大病院行

雄松町3丁目下車徒歩約5分

*** 駐車場が混み合うことが予想されますので、乗り合わせてお越しいただくか、公共の交通機関をご利用ください。**

申込欄（申込先:FAX 073-446-6607 事務局担当:地域活動支援センター櫻 中野）

代表者名(人数)	連絡先
氏名 (名)	

* ご記入の上そのままFAX してください